

MBH

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社

平成17年3月期 第3四半期業績発表説明会

平成17年1月21日 東証アローズ

この資料に掲載されている事項のうち、過去の実績・事実でないものは、将来の業績に関する見通しが含まれています。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。口頭もしくは書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1) 当社の顧客獲得や顧客基盤を継続的に維持する能力(2) 当社が事業において収益を計上する能力(3) 日本国内における株式委託業務に対する需要の変化(4) 当社が事業継続するために必要なシステムを維持または拡充する能力(5) 当社が主要株主とよい関係を維持できる能力 などです。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。また、掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

目次:

.財務情報および事業の概要

【業績概要】

2005年3月期第3四半期 前年同期比較（9ヶ月累計）	…	3
2005年3月期第3四半期 前年四半期比較（3ヶ月）	…	4
四半期別ハイライト	…	5
純営業収益 vs 販売費及び一般管理費	…	6

【他社比較】

個人による株式売買シェア	…	7
個人の株式取引動向（個人のネット取引の可能性）	…	8
開設口座数あたりの預かり資産分析	…	9

【サービス概要】

株式売買委託ビジネスの現況	…	10
引受業務の現況	…	11
投資信託取引の現況	…	12
FXサービス(外国為替保証金取引)の現況	…	13
債券ビジネスの現況	…	14
独自サービス	…	15
投資教育	…	16

.経営モデルと今後の展開

ミッション・ステートメント	…	18
ビジネスモデルの現在と未来	…	19
預かり資産あたり収益の分析（リテール部門）	…	20
証券仲介業サービス	…	21
他社にはないサービス	…	22
2005年 マネックスは「オルタナティブ投資元年」を宣言します	…	23
合併効果	…	24
MBHグループの現状と今後	…	25



.財務情報および事業の概要

.経営モデルと今後の展開

業績概要： 2005年3月期第3四半期 前年同期比較（9ヶ月累計）

(単位:百万円、%)

	2004年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	2005年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	対前年同期比 増減
営業収益	9,991	15,183	52.0%
純営業収益	9,530	14,349	50.6%
販売費及び一般管理費	6,256	8,419	34.6%
営業利益	3,274	5,929	81.1%
経常利益	3,282	5,858	78.4%
純利益	2,978	5,295	77.8%

(2003年4月～12月)

(2004年4月～12月)

(単位:百万円、%)

	2004年3月期 第3四半期末	2005年3月期 第3四半期末	対前年同期末比 増減
総資産	121,187	184,837	52.5%
純資産	20,602	28,014	36.0%
自己資本規制比率	574.5%	503.7%	-
現金・預金	14,751	27,665	87.5%

(2003年12月末)

(2004年12月末)

2005年3月期第2四半期以降の数値はMBH連結、それ以外の数値はマネックス証券と日興ビーンズ証券の単純合算の数値です。
自己資本規制比率はマネックス証券と日興ビーンズ証券の「控除後自己資本」、「リスク相当額」をそれぞれ単純合算して計算した比率です。
(以下全てのページ同様)

業績概要： 2005年3月期第3四半期 前四半期比較 (3ヶ月)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期 第2四半期(3ヶ月)	2005年3月期 第3四半期(3ヶ月)	対前四半期比 増減
営業収益	4,530	4,887	7.9%
純営業収益	4,312	4,596	6.6%
販売費及び一般管理費	2,892	2,721	5.9%
営業利益	1,420	1,875	32.0%
経常利益	1,338	1,874	40.1%
純利益 ^{注)}	1,749	1,014	42.0%

(2004年7月～9月) (2004年10月～12月)

注) 前四半期に比べ減少している理由は法人税等の引き当てによるものです。

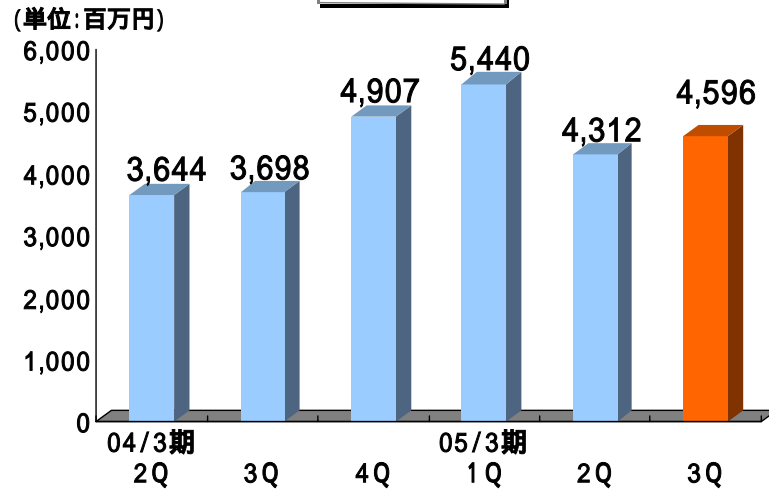
(単位:百万円、%)

	2005年3月期 第2四半期末	2005年3月期 第3四半期末	対前四半期末比 増減
総資産	197,755	184,837	6.5%
純資産	26,959	28,014	3.9%
自己資本規制比率	531.2%	503.7%	-
現金・預金	38,566	27,665	28.3%

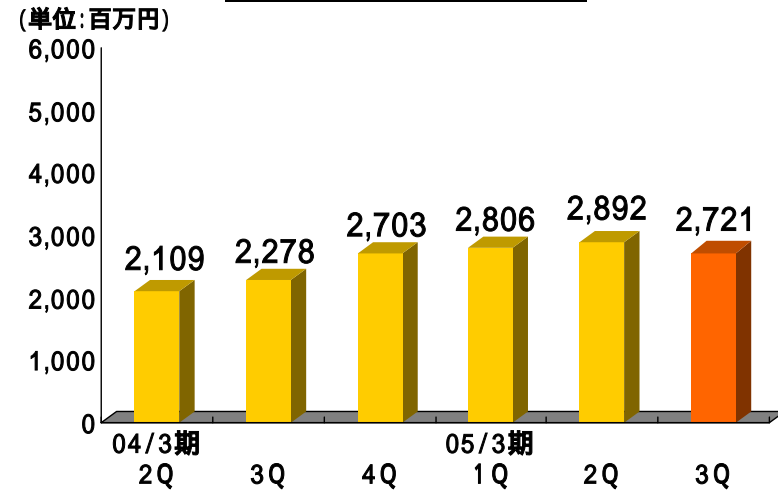
(2004年9月末) (2004年12月末)

業績概要： 四半期別ハイライト

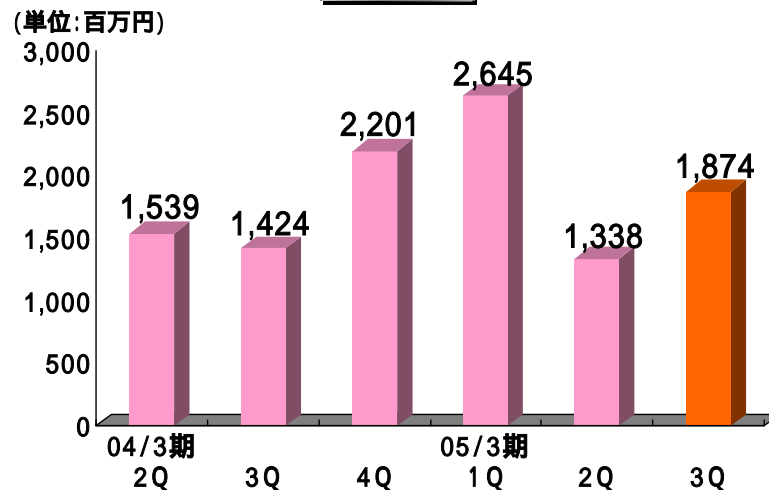
純営業収益



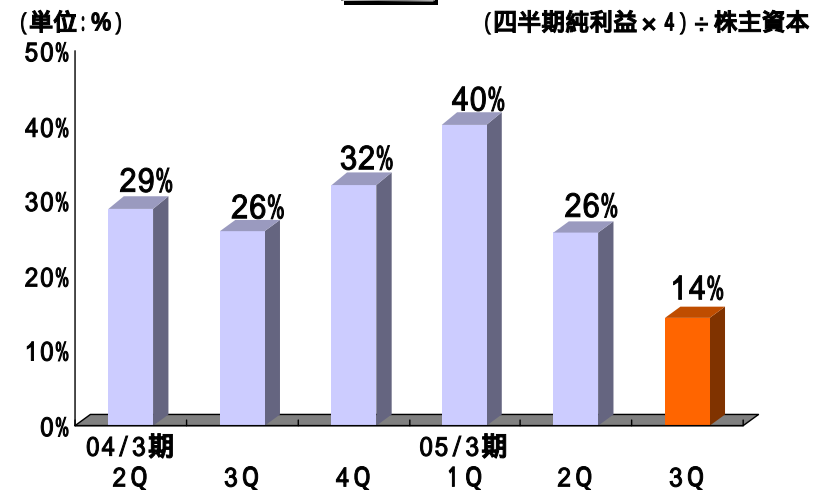
販売費及び一般管理費



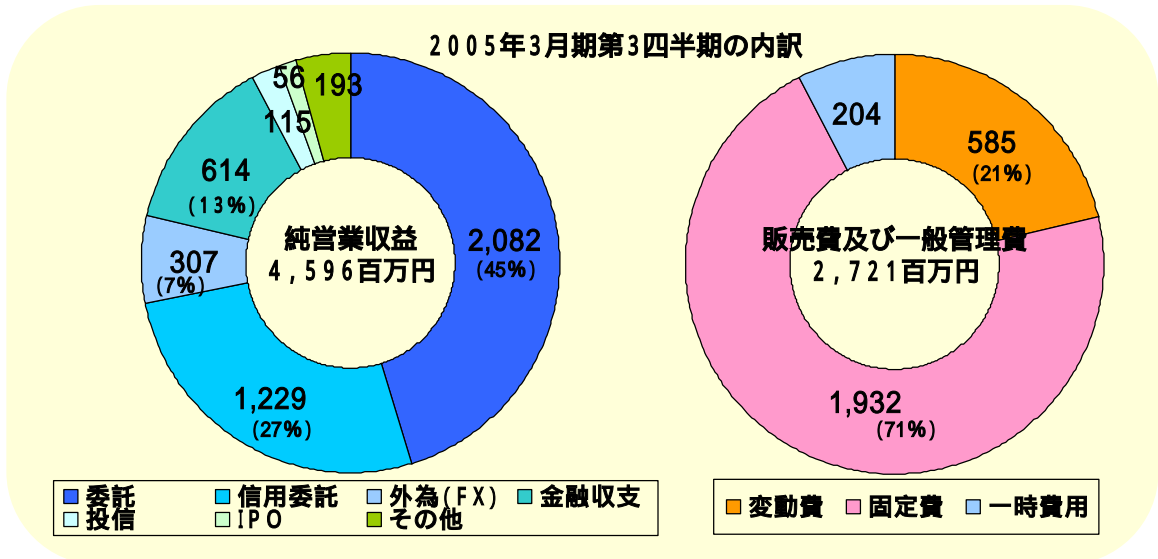
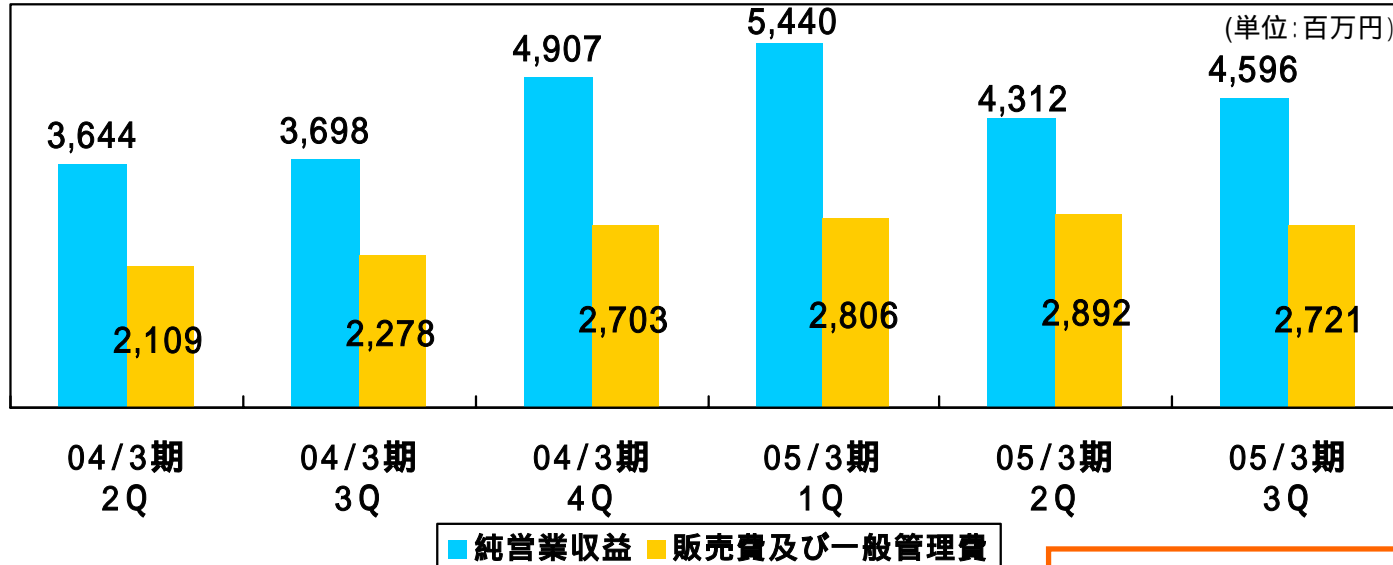
経常利益



ROE



純営業収益 vs 販売費及び一般管理費



純営業収益に占める委託手数料の割合

2005年3月期

- 第1四半期・・・79%
- 第2四半期・・・73%
- 第3四半期・・・72%

委託手数料以外の収入は全体の28%となり、固定費の67%をカバーする

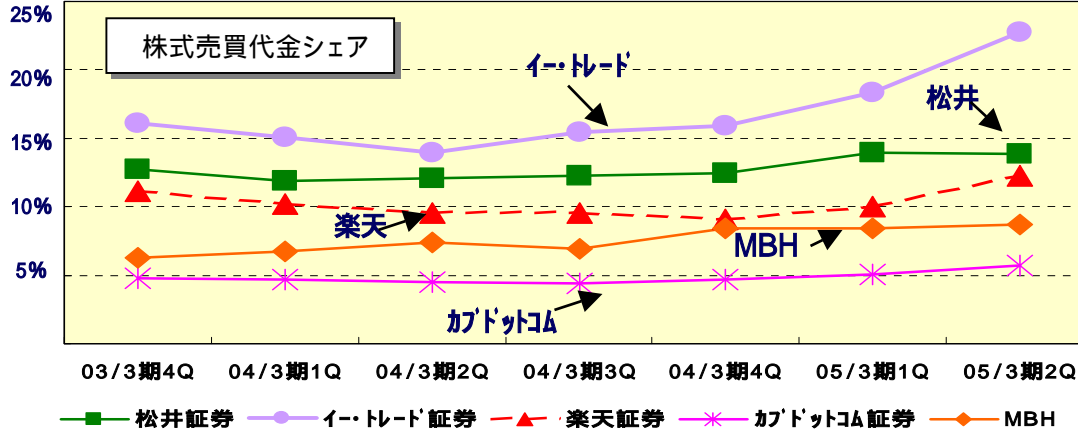
損益分岐点分析 [2005年3月期第3Qの実績を基に算定]

東証売買高約5億株で損益分岐となる
(前提)東証シェア、委託以外収益は変わらず

他社比較：個人による株式売買シェア

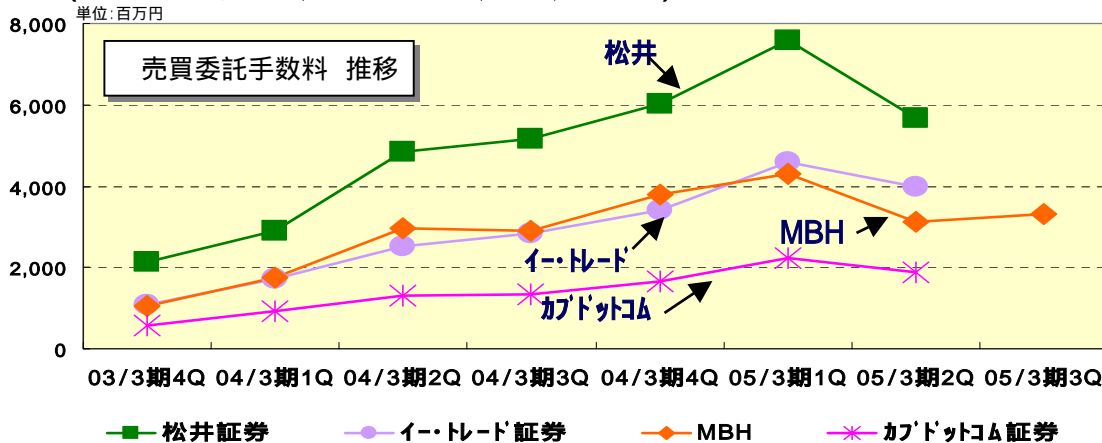
オンライン証券会社との比較

(MBH vs 松井証券、イー・トレード証券、楽天証券、カブドットコム証券)



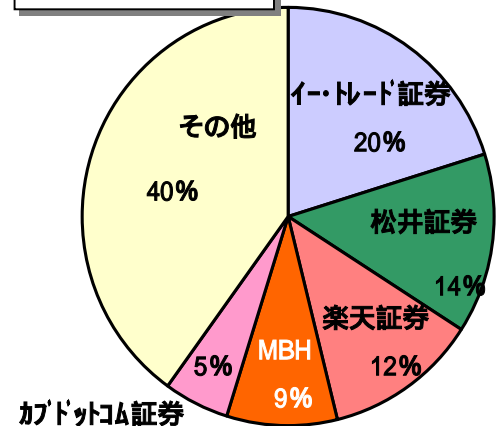
オンライン証券会社との比較

(MBH vs 松井証券、イー・トレード証券、カブドットコム証券)



出所 各社IR資料 注) 株式売買代金シェア: 三市場+JASDAQ

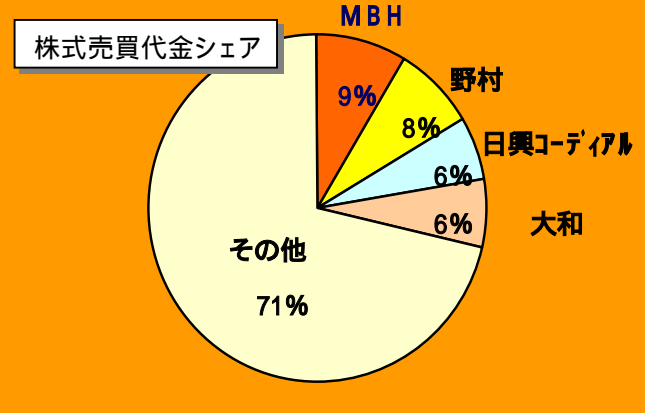
株式売買代金シェア



2005/3中間期 (2004年4月～9月)

<参考>

大手証券会社3社(リテール向け)との比較
(MBH vs 野村証券、日興コーディアル証券、大和証券)



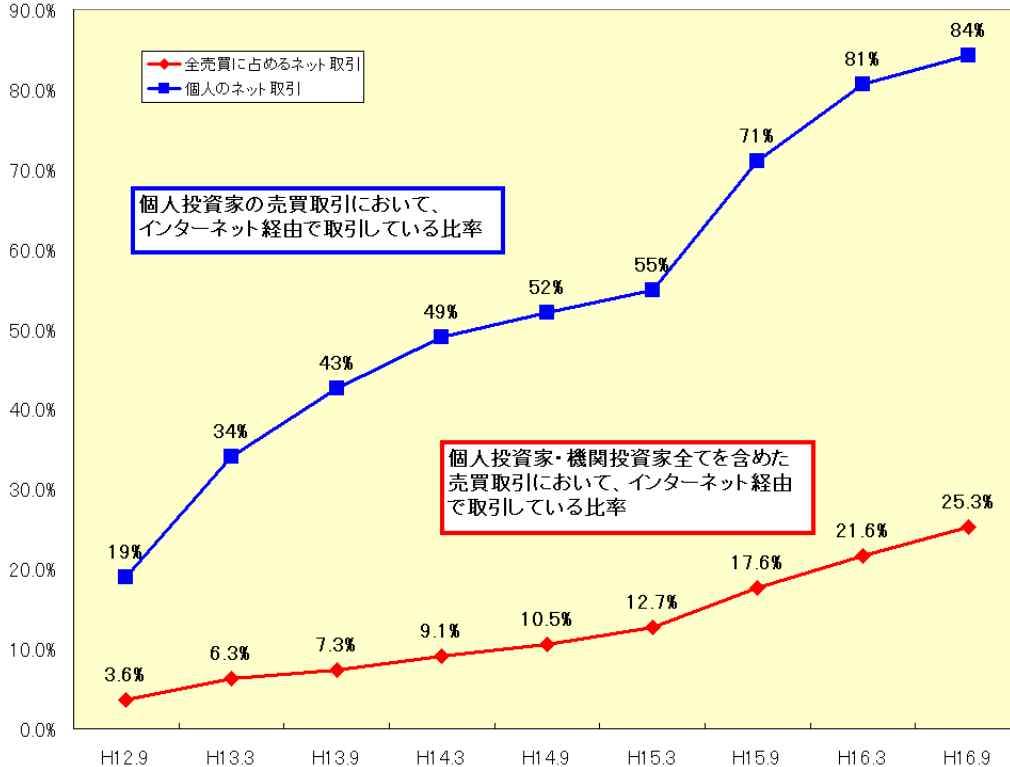
2005/3中間期 (2004年4月～9月)

個人の株式取引動向(個人のネット取引の可能性)

マーケットにおける株式売買取引の推移

平成15年3月から急速にインターネット経由の取引が増えており、現在は個人投資家の8割以上がインターネット経由で取引をしている

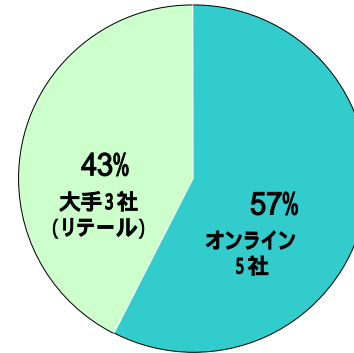
出所：日本証券業協会「インターネット取引に関する調査結果について」



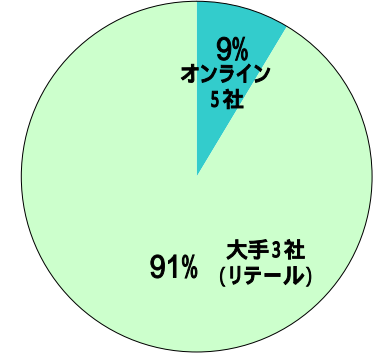
個人取引におけるオンライン証券と大手証券との違い

売買代金で比較するとオンライン証券5社合計は、すでに大手証券3社合計を上回るほどの取引を行っているが、預かり資産で比較すると圧倒的にオンライン証券は少ない
 今後は預かり資産を増やす施策が重要となる

株式委託売買金額 (2004年3月期)



株式預かり資産 (2004年3月末)



オンライン証券5社

(MBH、松井証券、イー・トレード証券、楽天証券、ガドットコム証券)

大手証券3社

(野村証券、日興コーディアル証券、大和証券)

出所：各社IR資料

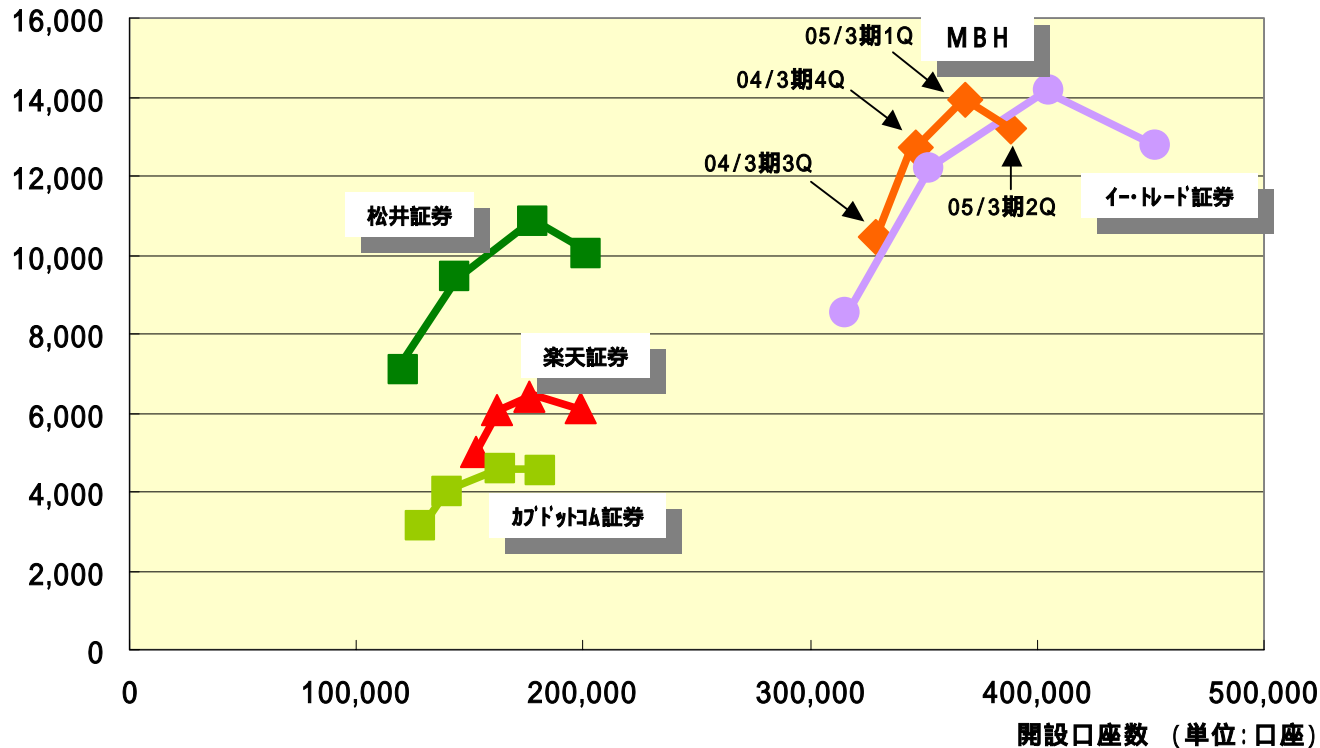
他社比較：開設口座数あたりの預かり資産分析

MBHの口座数、預かり資産は他のオンライン証券と比べても優位である

開設口座数 411,165口座 預かり資産 14,015億円 (2004年12月末現在)

口座数は両社間(マネックス証券、日興ビーンズ証券)の重複口座を勘案していません

預かり資産 (単位: 億円)

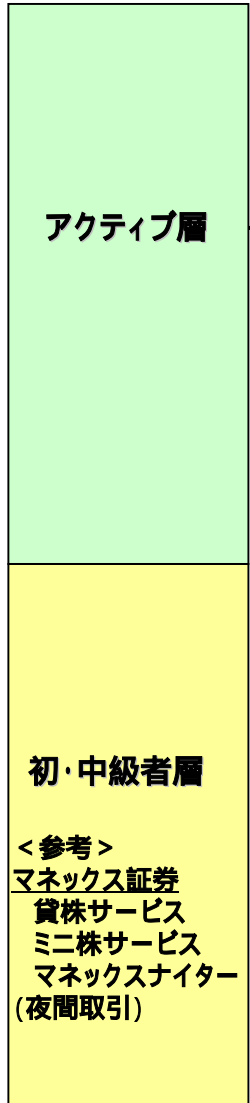


出所: 各社IR資料

◆ MBH ■ 松井証券 ● イー・トレード証券 ▲ 楽天証券 ■ カブドットコム証券

株式売買委託ビジネスの現況：アクティブ層獲得の為の3つの施策

* 以下のサービスは現在日興ビーンズ証券のみのサービスですが、マネックス証券のお客様は合併後にご利用可能になります。



施策1： 支払手数料の **半額 分をポイント還元**
*月間の支払い手数料が30万円以上のお客様を対象

ボリューム・ディスカウントにより、実質的に**手数料の引き下げ**へ
 オンライン他社と比較しても、アクティブ層に対しては**格安の手数料**を実現

➡ **他社で取引しているアクティブ・トレーダーの獲得を狙う料金体系**

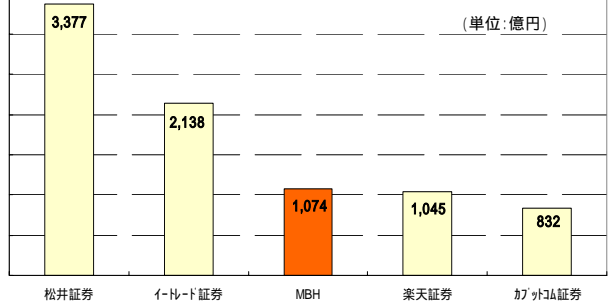
**施策2： 売買連携機能のついたトレーディング・ツール
 ~ マーケットライダー プレミアム ~**

- 機能1: 1,000銘柄まで登録できる「銘柄登録リスト」
- 機能2: **逆指値、ツイン指値**など様々な価格条件指定の注文も可能
- 機能3: リアルタイムの約定成立通知や株価の指定値段到達をお知らせ

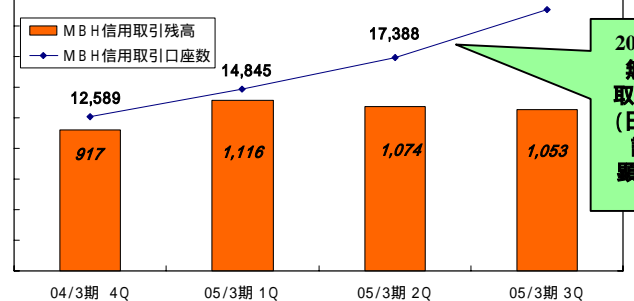


施策3： 一般(無期限)信用スタート

05/3期2Q 信用取引(買建+売建)残高 オンライン証券比較



MBH 信用取引残高、口座数推移 (単位: 億円)



2004年10月に無期限信用取引をスタート(日興ビーンズ証券)以来顕著に伸びている

<参考>
 マネックス証券
 貸株サービス
 ミニ株サービス
 マネックスライター
 (夜間取引)

引受業務の現況

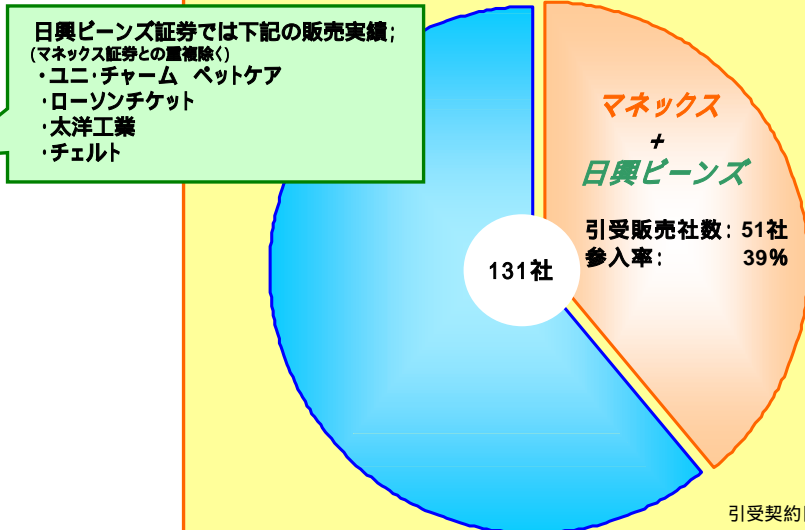
2005年3月期第3Qの引受販売実績(マネックス証券のIPO+PO)

社名	IPO/ PO	引受/ 販売	市場	上場日	調達額 (百万円)	シェア (%)
エイチ・エス証券	IPO	販	大証HC	10/13	15,000	0.8%
ワイズマン	IPO	引	JASDAQ	10/18	2,400	5.0%
マクロミル	PO	引	マザーズ	10/21	3,612	1.0%
アートコーポレーション	IPO	引	東証2部	10/22	3,500	1.0%
新華ファイナンス・リミテッド	IPO	引	マザーズ	10/28	4,809	1.0%
フライトシステムコンサルティング	IPO	引	マザーズ	11/1	653	7.0%
GDH	IPO	引	マザーズ	11/9	1,200	1.0%
コスモス薬品	IPO	引	マザーズ	11/11	3,600	1.0%
賃貸住宅ニュース社	IPO	引	大証HC	11/15	7,920	2.0%
バンダイビジュアル	PO	引	東証2部	11/18	1,187	3.0%
ITTバイオファーマ	IPO	引	マザーズ	11/25	1,870	1.0%
タカラバイオ	IPO	引	マザーズ	12/7	8,000	0.5%
クリヤマ	IPO	引	東証2部	12/9	891	1.0%
バラカ	IPO	引	マザーズ	12/9	1,265	2.0%
アエリア	IPO	引	大証HC	12/15	550	3.0%
省電舎	IPO	引	マザーズ	12/16	1,038	3.0%
GMB	IPO	引	大証2部	12/17	2,520	2.0%
リプラス	IPO	引	マザーズ	12/17	588	10.0%
ワールドロジ	IPO	引	大証HC	12/17	2,567	7.0%
ウェルネット	IPO	引	JASDAQ	12/21	912	2.0%
昭和シェル石油	PO	販	東証1部	12/22	8,156	0.3%
ミホウジャパン	IPO	引	大証HC	12/28	263	2.0%

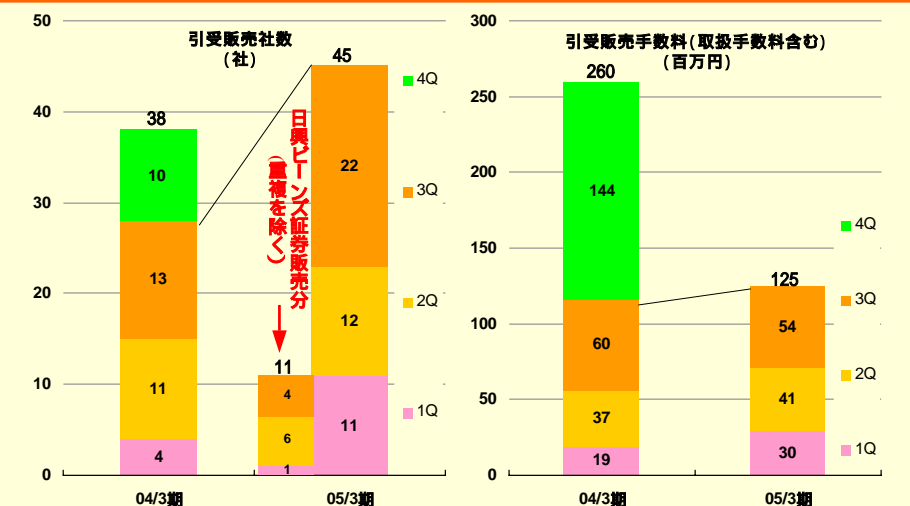
(合計22社) *日興ビーンズのための販売実績4社を除く数字。 契約日ベース

IPOシェア(マネックス証券+日興ビーンズ証券)

2005年3月期第3四半期(4-12月)のIPO状況

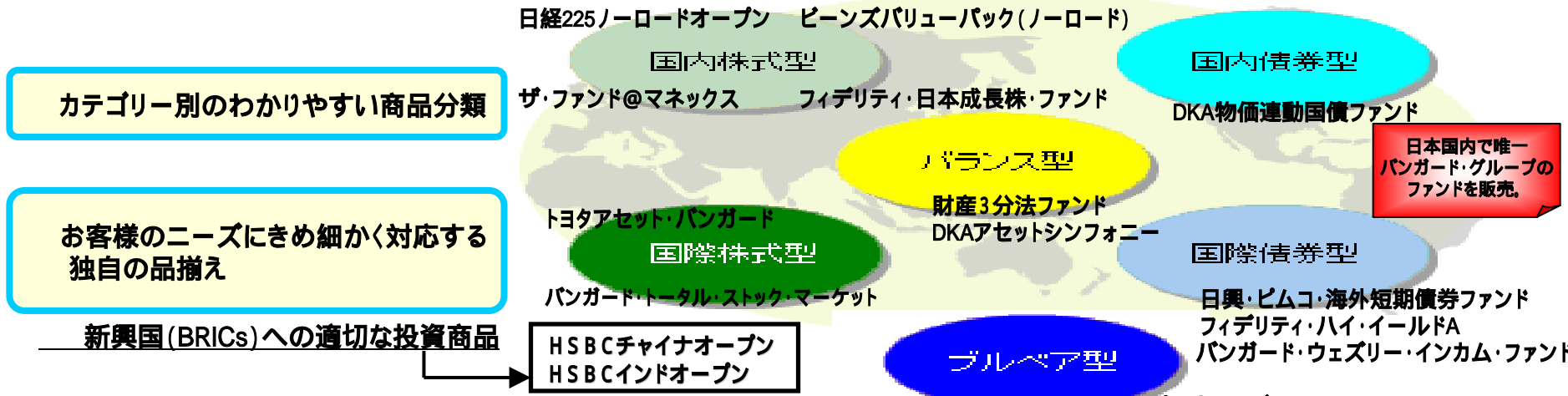


引受販売社数と手数料(マネックス証券のIPO+PO)



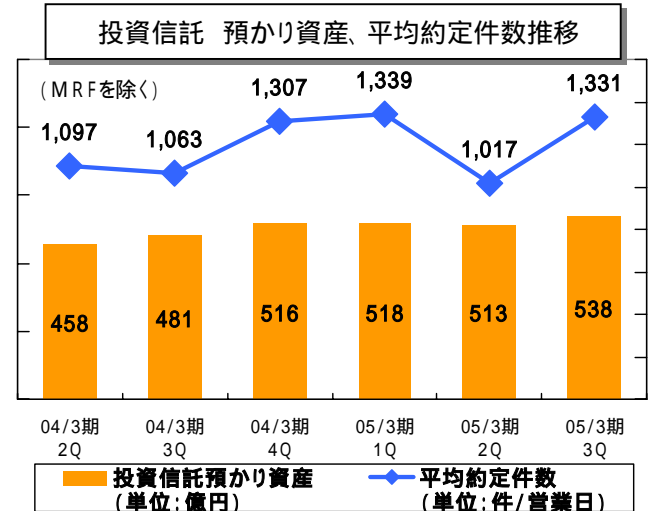
- ・05/3期3Q(4月-12月)の引受販売社数(IPO+PO)は、56社で、04/3期1年分の実績を超えた。
- ・IPO参加率は、約40%まで達し、発行会社、個人投資家双方に「IPOのMBH」としての認知が進んでいる。
- ・オンライン随一と自認する引受幹事能力を強みに、主幹事務の醸成や更なる引受比率向上を目指す。
- ・日興コーディアルグループのサポート、みずほ証券との提携等によりネット証券の枠を越えた幅広い投資銀行業務への展開を図る。

投資信託取引の現況：非対面チャンネルとして国内最大の販売実績



多様な積立方法の提供による長期資産形成のサポート

マネックス	MRFから	定額積立	7,940件/月 149百万円/月 (2004年12月実績)
	(セゾン)カード 決済口座から	カードde自動つみたて	6,284件/月 135百万円/月 (2004年12月実績)
日興 ビーンズ	銀行口座から	豆の木	1,647件/月 50百万円/月 (2004年12月実績)
合計:			15,871件/月 334百万円/月



合併後もセレクトショップ形式により
厳選したファンド構成

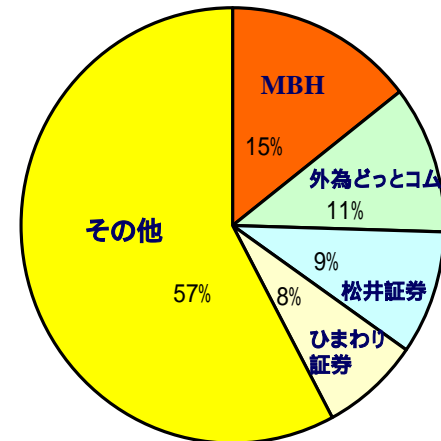
FXサービス(外国為替保証金取引)の現況

リテール最大級のFX口座数、保証金残高 (2004年12月末現在)

24時間、いつでも自分のスタイルで取引可能
日本の祝日でも海外市場は開いている

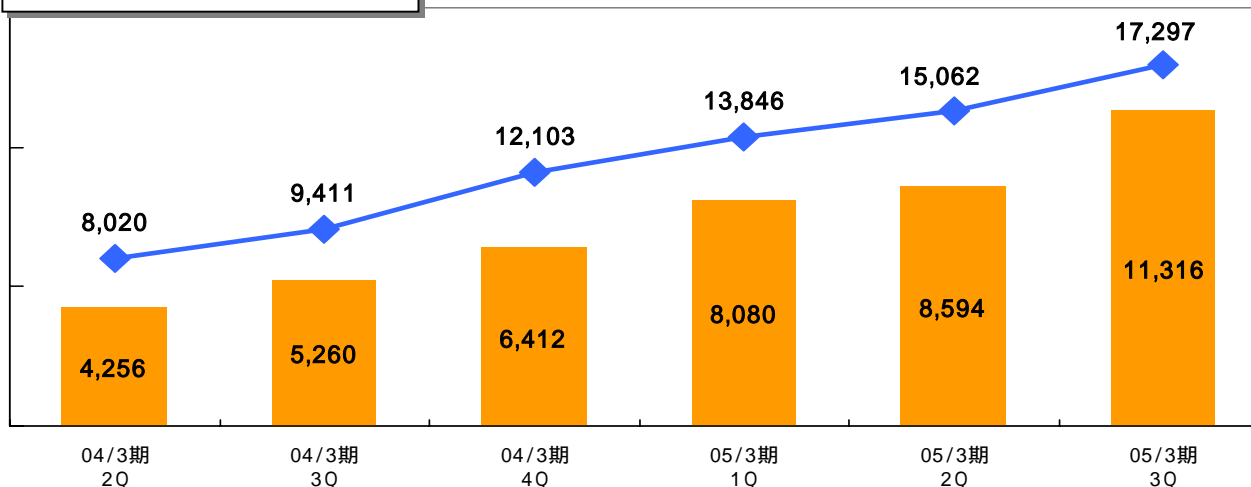
- ➡ **MBHの顧客属性** {
 - ・「為替」に興味がある
 - ・ビジネスで馴染みがある
- ➡ **今後獲得していきたい新規顧客の属性と重なる**
- ➡ **今現在「投資」を始めていない潜在顧客の取り込みに繋がる**

FX口座数シェア 2004年12月末現在



出所: 矢野経済研究所資料より按分して算出、当社調べ

FX口座数、保証金残高推移



■ FX保証金残高(単位: 百万円) ◆ FX口座数(単位: 口座)

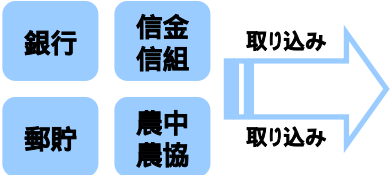
債券ビジネスの現況：「貯蓄」から「投資」、「円」から「外貨」へ



幅広いアセットアロケーションを個人投資家に提供
 → 中・長期的に安定した「円」や「外貨」へ分散投資できる手段

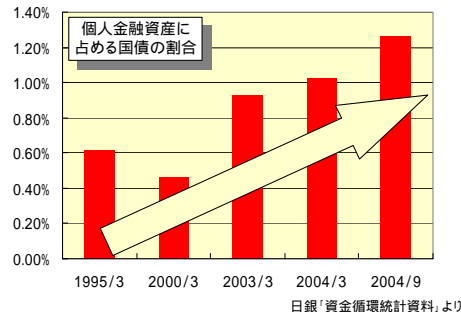
「個人向け国債」の販売

大手オンライン証券では **マネックス証券** と他1社が販売



新規顧客の獲得
 正しい商品知識の啓蒙
 新しい資産運用方法の提示

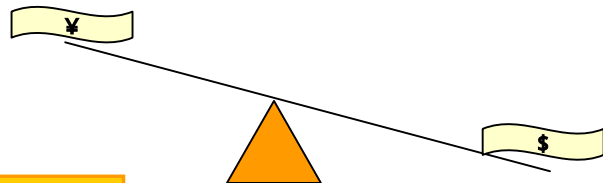
個人金融資産に占める
 国債の割合は10年前
 や5年前に比べ確実に
 増えている



ここ数年は個人向け
 国債の販売により、更に
 増加していく傾向にある

高格付け・高金利の「外国債券」の販売

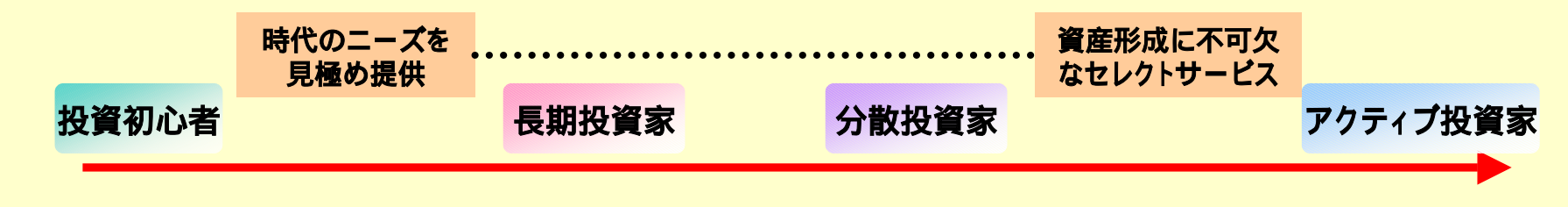
円安時にも資産の目減りを防ぐ「国際分散投資」



- 取扱商品**
- <新発債(プライマリー)>
 - 国際復興開発銀行(世界銀行) USドル建
 - 国際復興開発銀行(世界銀行) オーストラリアドル建
 - 国際復興開発銀行(世界銀行) ニュージーランドドル建
 - <既発債(セカンダリー)>
 - 国際復興開発銀行(世界銀行) オーストラリアドル建
 - 国際復興開発銀行(世界銀行) ニュージーランドドル建

独自サービス：オンライン証券だから提供出来る金融パラダイス

日本の金融サービスをより身近にする多彩な商品サービス群



メールマガジン 約定通知メール (マネックス+日興ビーンズ)

マネックスブログ (マネックス) FX(外国為替保証金取引) (マネックス+日興ビーンズ) サーフィントレード (マネックス+日興ビーンズ)

先駆け 郵便局のATMで入出金 (マネックス) 外国債券・個人向け国債 (マネックス) 月間手数料30万円以上半額返却 (日興ビーンズ)

先駆け マネックス(セゾン)カード (マネックス) 一般(無期限)信用取引 (日興ビーンズ)

先駆け 株式ミニ投資(ミニ株) (マネックス) 厳選したセレクト投信 (マネックス+日興ビーンズ) 逆指値・ツイン指値 (日興ビーンズ) 権利入札取引 (日興ビーンズ)

先駆け 株主向け優遇サービス (日興ビーンズ) 先駆け 貸株サービス (マネックス) 先駆け 商品先物(CX)取引 (日興ビーンズ)

相続・遺言相談紹介サービス 税理士紹介サービス (日興ビーンズ) 中国株 (日興ビーンズ) カバードワラント (日興ビーンズ) 先物・オプション (マネックス)

先駆け 損害保険 (マネックス+日興ビーンズ) 生命保険 (日興ビーンズ)

先駆け マネックスナイト(夜間取引) (マネックス) 先駆け 他社に先駆けて提供している商品サービス

投資教育：個人投資家の裾野を広げる為の継続的な施策

パラダイム転換 個人が自らの判断で資産運用を行なう時代へ

なぜ、投資教育を重視してきたか？

前提：「お客様の目的は投資利益の獲得」 「投資利益は各個人の金融リテラシーに従属」

MBHは

「お客様の金融リテラシー向上による投資利益獲得」を優先

「お客様が利益を得ることが、MBH自身の発展へとつながること」を確信

一般向け

顧客限定

オンライン

・マネックスメール

“35万人”を突破した購読者

圧倒的なコンテンツ
相場解説、投資教育、各種コラム
土曜日配信もスタート

- ・マーケット朝一番！
- 当日の相場情報を配信。新鮮な情報を提供。
- ・約定通知メール、アラートメール
- ・外国為替情報

オフライン

【出版物】

- ・「真鍋かをりと松本大のいちばんやさしい株のはなし」
- ・「内藤忍の資産設計塾」 etc.



【セミナー、講演会】

- ・東証との共催セミナー等
- ・ビデオ、DVD販売

【勉強会、セミナー】

- 多彩なテーマ
- 「テクニカル分析」「信用取引講座」
- 「為替トレード入門」 etc.

参加者
“約9,000人” (2004年4月～12月、全69回)

現在のコンテンツ

新コンテンツ

オルタナティブ・ファンド
・ビジネスの本格展開

オルタナティブ投資に関連するコンテンツ提供
＜オルタナティブ＞メール創刊
現役著名ファンドマネージャーによるセミナー開催

.財務情報および事業の概要

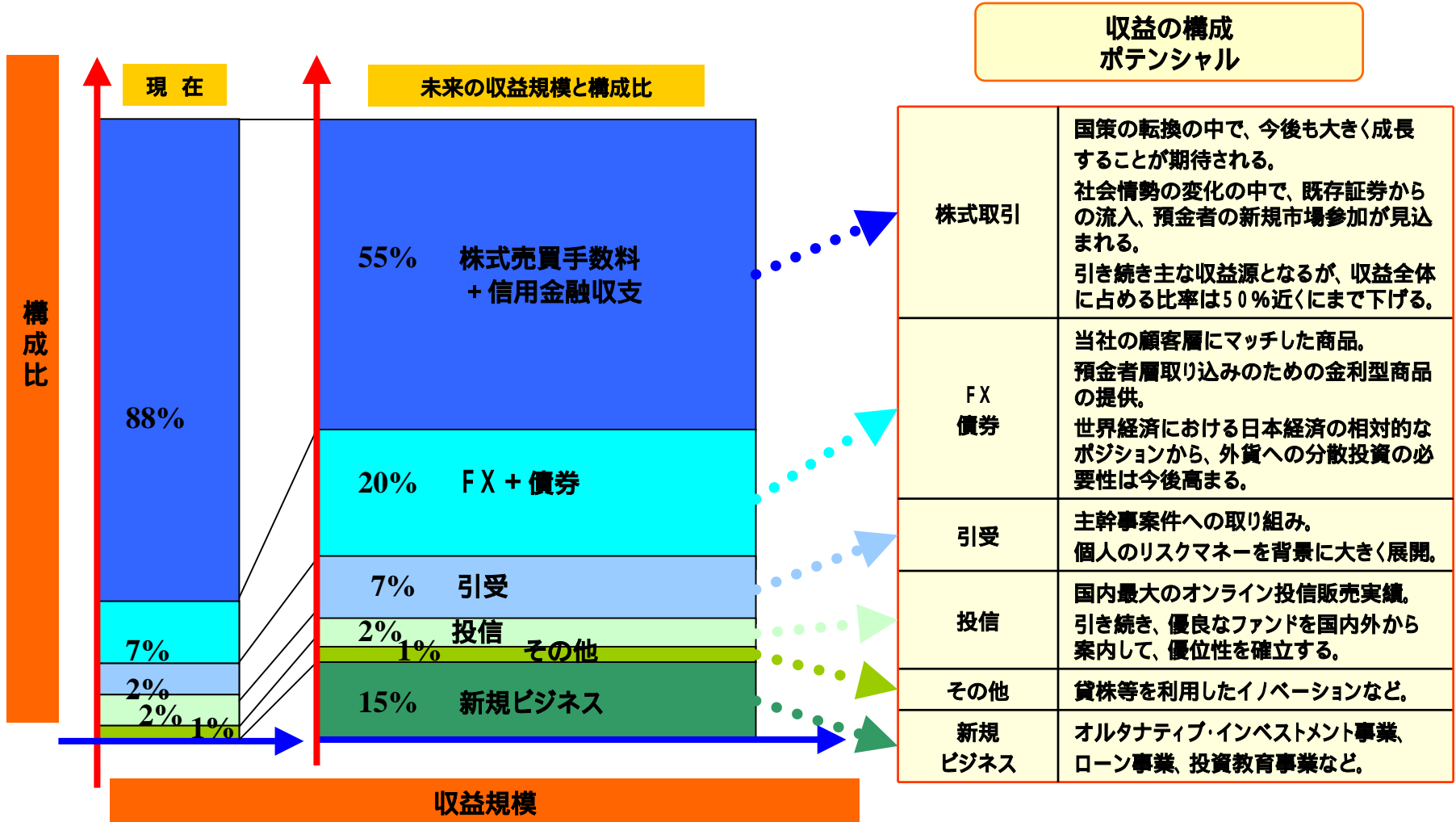


.経営モデルと今後の展開

ミッション・ステートメント

- ◆ オンライン・トレーディングを提供するのではなく、オンラインによる個人向け総合金融サービスを提供する。
- ◆ 株式だけでなく、金利型商品、外貨商品、運用商品などの幅広い品揃えを実現し、世界標準の金融商品・サービスを提供する。
- ◆ 能動的に売買判断をしない層へもサービスを提供する。
- ◆ 預かり資産当たりコストを更に低減させ、資産管理型ビジネスモデルを完成させる。
- ◆ 持株会社により、金融機関の業際の変化にダイナミックに対応。
- ◆ 投資教育・啓発活動を更に強化していく。

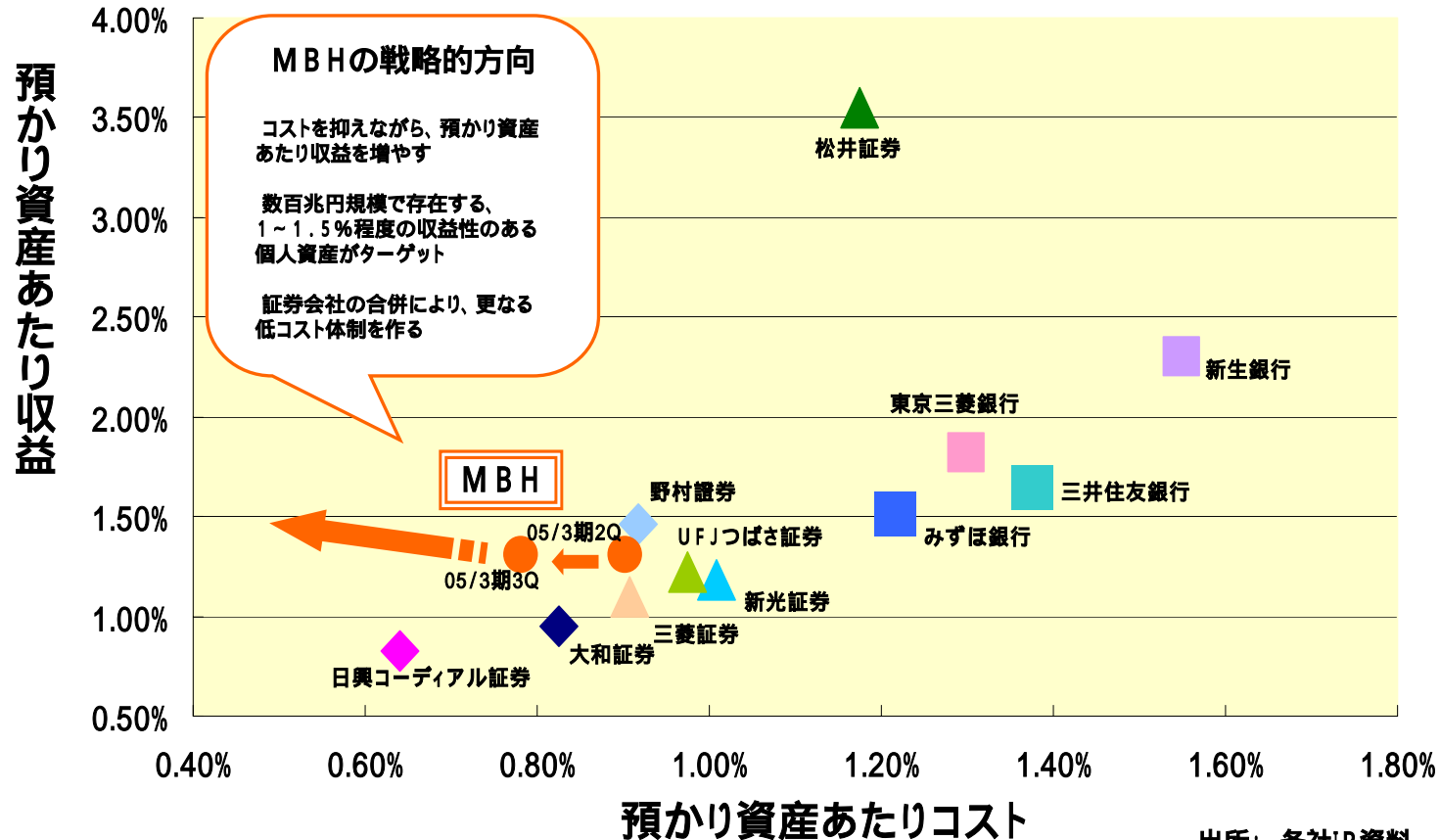
ビジネスモデルの現在と未来： 収益ポテンシャルの厚みを増し更に拡大



預かり資産あたり収益の分析(リテール部門)

比較分析データの作成根拠

【収益】…(A)	【コスト】	【預かり資産】	【計算方法】
証券 純営業収益 銀行 経常収益 - 資金調達費用	証券 (A) - 経常利益 銀行 (A) - 経常利益	証券 預かり資産(リテール) 銀行 総資産	MBH 2005年3月期2Q、3Qの数値をそれぞれ4倍 他社 2005年3月期上半期の数値を2倍



出所: 各社IR資料

証券仲介業サービス

クレディセゾンの証券仲介業開始

(セゾン)カード会員1,600万人に向け、セゾンカウンターおよびホームページ上で、口座開設の勧誘、手続きの取次ぎ開始

請求書同封のカードニュースで、定期的に情報発信

今後、拠点および取扱い商品を増やすことにより、(セゾン)カード会員にむけてMBHならではの良質な金融商品・情報を提供する。

セゾンカウンターは全国に約180ヶ所、(セゾン)カード会員は1,600万人、業務統合を発表したUCカードをあわせると2,800万人

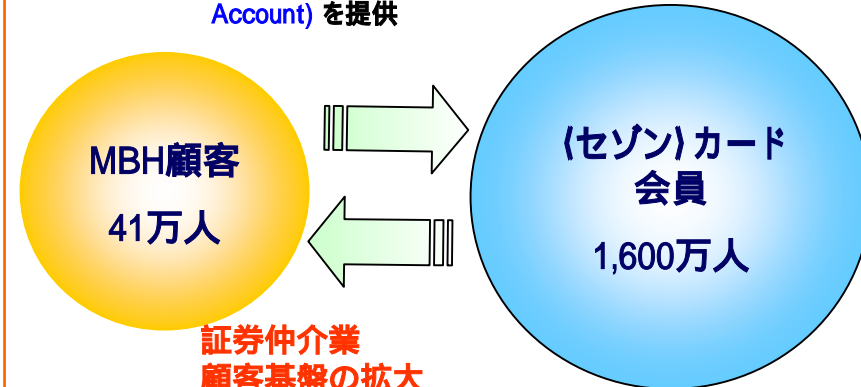


新たな展開

他業種とも、積極的に証券仲介業を中心とする提携を模索
周辺環境の変化(市場規模の増大や個人投資家の急増、証券取引法65条改正等)を、ビジネスチャンスとし、オンラインによる個人向け総合金融サービスを提供する土台を構築

マネックス(セゾン)カードの発行

全国郵貯ATM/CDにて入出金可能
全国の(セゾン)CD・ATMにて出金が可能
マネックス口座では決済可能
我が国で珍しいCMA(Cash Management Account)を提供



証券仲介業 顧客基盤の拡大

- ・(セゾン)カード会員に向けた積極的な施策
- ・(セゾン)カード会員は、当社潜在顧客層にマッチ



MBH CEO
松本 大

クレディセゾン
林野社長

他社にはないサービス：個人投資家が必要なサービスをいち早く提供

オンライン専門証券では「初」の商品サービス

貸株サービス

「配当金相当額が自動的に受取れる」

【貸株通帳で確認】

●貸株金利支払明細

日付	貸株金利	摘要
2004/12/10	9,105	貸株金利(2004年11月分)※
2004/12/14	41,400	配当金相当額 2670 エーピーシー・マート 配当単価 10.00
2004/12/14	50,400	配当金相当額 7267 本田技研 配当単価 28.00
2004/12/14	121,500	配当金相当額 7203 トヨタ自動車 配当単価 25.00
合計	222,405	

※詳細は「貸株金利の日次明細」をご覧ください。

●貸株金利の日次明細

日付	銘柄数	時価総額	貸株金利
2004/11/1	16	91,452,280	250.46
2004/11/2	16	91,401,760	250.33
2004/11/3	16	91,401,760	250.33
2004/11/4	16	91,768,280	251.34
2004/11/5	16	92,526,680	253.43

2005年4月、税制改正により特定口座でも貸株が利用可能に。
2005年度中システム対応予定。

商品先物

【取扱商品】



金



白金



原油



ガソリン



灯油

「生活に身近な商品でリスク分散」

- ・他の会社にも口座を開設する必要が無い
- ・シンプルかつリーズナブルな取引手数料

ATM、カード

「身近な生活口座」

クレジットカード一体型のキャッシュカード

- ・全国約2万5千台の郵貯ATMで入出金
- ・(セゾン)カードの便利な特典を享受



キャッシュカードがあれば、マネックスはますます便利!!

マネックス《セゾン》カード
(クレジットカード一体型)

夜間取引

「マネックスナイター」

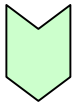


- ・我が国唯一の個人向けPTS
- ・2001年1月にスタートしてから4年間休まず稼働
- ・丸三証券でも取引が可能でマーケット規模も拡大

2005年 マネックスは「オルタナティブ投資元年」を宣言します

マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ(MAI)の活動状況

2005年 1月



マネックス ファンド・オブ・ファンズ 設定完了
2004年12月より運用開始 国内外プライベートエクイティ、ヘッジファンド組み入れ中

「オルタナティブ投資 = マネックス」のブランドイメージ確立へ

マネックス・オルタナティブメール
メールによるオルタナティブ投資の
無料情報の提供を開始
(2005年1月)

オルタナティブ・セミナー
オルタナティブ投資の第一線で活躍中の
運用者をスピーカーに招いた、
1,000人規模のセミナー開催予定
(2005年3月)

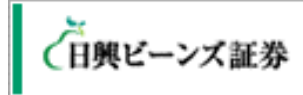
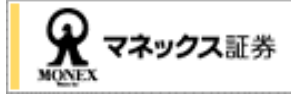
2005年 初夏



マネックス - フルトン アジア ファンド・オブ・ヘッジファンズの設定
強力なパートナーと共に、これまでにない日本・アジア太平洋地域
フォーカスの本格的ファンド・オブ・ヘッジファンズを国内投資家向けに
提供し、ポートフォリオの分散強化・投資機会拡大を可能に
(2005年初夏予定)

フルトン (Fullerton Fund Management Ltd, “FFMC”)とは;
FFMCはシンガポールを拠点とするファンド運用会社。シンガポール財務省が100%出資するタマセック・ホールディングス
(Temasek Holdings Private Ltd)の100%子会社で、戦略的資産配分とアジア関連資産に焦点をあてつつ、株式・債券・為替の
グローバル運用と絶対リターン運用を行っている。

合併効果： マネックス証券 + 日興ビーンズ証券 オンライン証券の可能性を追求



サービス

共通したサービス 株式 信用取引 投資信託 FX
マネックス独自のサービス マネックスナイター 株式ミニ投資(ミニ株) 貸株サービス ATM 日経225先物・オプション

+

共通したサービス 株式 信用取引(一般信用も可能) 投資信託 FX
日興ビーンズ独自のサービス 商品先物 逆指値
マネックスナイター (2005年4月システム構築完了予定) 株式ミニ投資(ミニ株) (2005年3月提供予定) 貸株サービス (2005年2月提供予定) ATM (2005年4月システム構築完了予定) 日経225先物・オプション (2005年2月提供予定)

マネックス・ビーンズ証券 (MBS)

現物取引からオルタナティブ投資商品まで

→ **フルラインサービスを実現**

総合証券のサービスと比較しても遜色のないサービス提供

→ **わが国を代表するオンライン証券の誕生**

システム関連コスト

32億円 / 年……
 2004年4月～2004年12月実績から年間ベースを計算

合併の際にシステムは除却の予定

日興ビーンズ証券にないサービス構築によるコスト増加

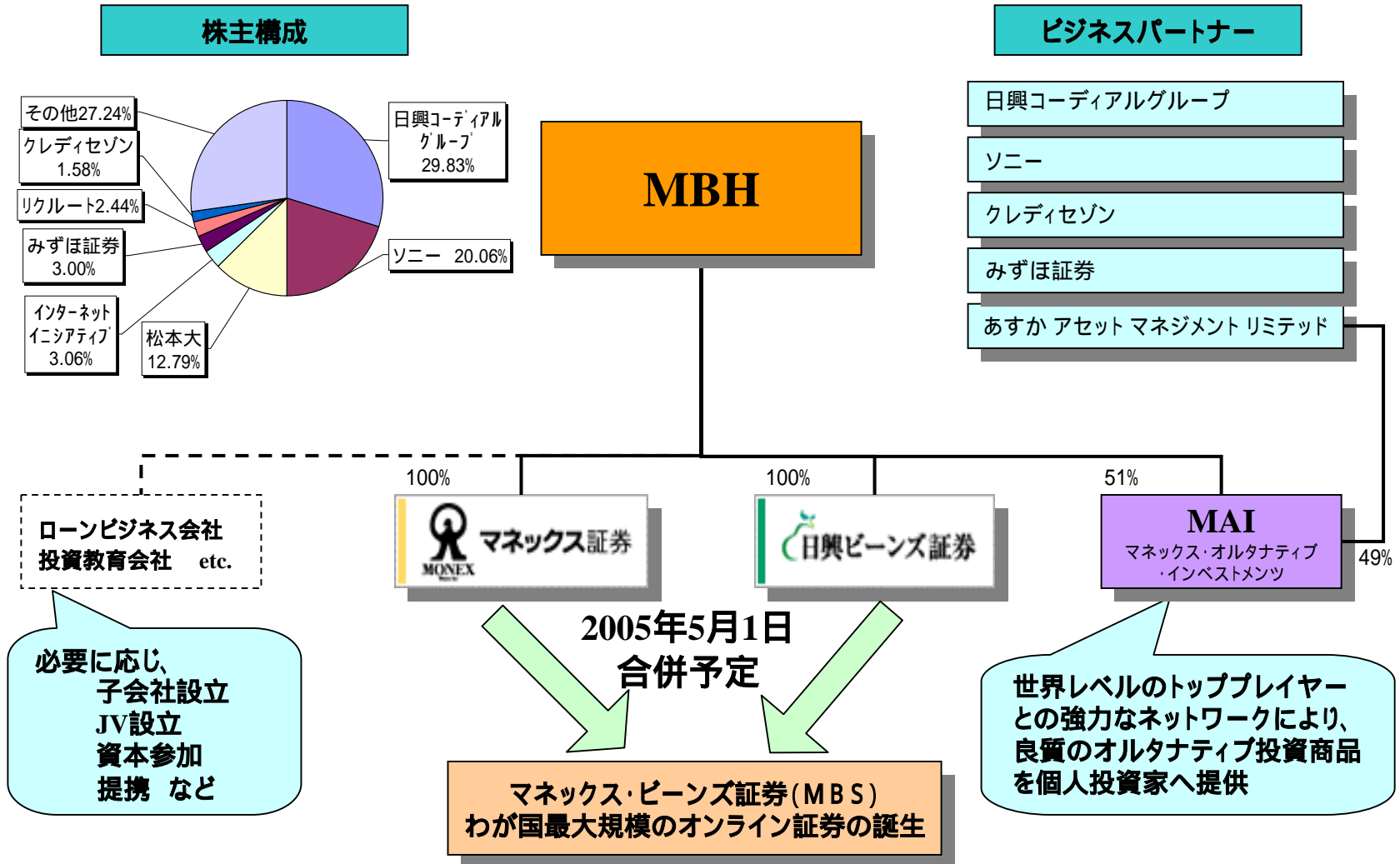
25億円 / 年……
 2004年4月～2004年12月実績から年間ベース

<統合前>のシステム関連コスト
 57億円 / 年 …… +

<統合後>のシステム関連コスト
 34億円 / 年 ……

削減効果
 23億円 / 年 …… + -

MBHグループの現状と今後



MBH

Monex Beans Holdings, Inc.

未来の話をしよう。

マネックス・ビーンズ・ホールディングスは
マネックス証券と日興ビーンズ証券の共同持株会社です。